

秋葉就一の県政レポート No.34



八千代市大和田新田312-9-201

<http://shuichi.akiba.coocon.jp/>

↑web

TEL 047-489-5406 (fax5407)

電子メール: akibasanka@yahoo.co.jp

FB等裏面

東葉高速が「夏の土休日1日乗車券」を発売（7/13～8/18）後、9/14から「エキタグデビュー記念 東葉高速線1日乗車券」を大人900円、小学生100円で発売中（11月4日までの土曜・日曜・祝日のみ。予定枚数売り切れ次第終了）



3月6日 予算委質疑中の秋葉

★第34回 秋葉就一の県政報告&対話会★

- ・日時：11月16日（土）午後2時～4時（受付1:45～）
- ・会場：大和田公民館 会議室（大和田250-1、大和田駅から北へ徒歩約8分。大和田図書館と同一建物）、参加費無料。ZOOMは前日までに要予約。次回は12月21日（土）の2時～@阿蘇公民館 2階 講習室

住み続けたいと思える千葉県に（八千代市から）

東葉高速の2023年度決算概要

東葉高速鉄道（株）の2023年度決算が6/20、発表された。裏面記載の表の通り、運輸収入が前年度比+7.7%の153億円となり、過去最高額のコロナ前・2019年度のわずか▲4.1%までの回復を見せた。沿線の人口増も見込めるので、2024年度でコロナ前の運輸収入を超えられる見通しが立ったし、何よりも、当期純利益を33億円計上できたおかげで、1997年度以来初の債務超過解消を達成した。

ただ、超低金利時代終焉の影響が出始めたことで、約2202億円もの長期債務のリスクを今までより警戒しなければいけない状況。一方で、北総鉄道による2022年10月実施の通学定期大幅値下げと運賃値下げの経営面の影響は、プラスがマイナスを上回りつつある現状も確認できた（裏面）ので、「大胆な値下げで数年以内の増収（値下げ前の運輸収入を超える）を図る」戦略は机上の空論ではないと言いきやすい状況が出てきた。今後、高校生・大学生相当年代人口は、社会増減がなければ漸減傾向なので、値下げの検討は急がなければならない。

《6月議会の秋葉の意見書案賛否の一部》→

県内鉄道の精神障がい者割引導入が拡大

昨年6月定例県議会の総合企画企業常任委員会では、県内鉄道の障がい者割引の導入状況について質疑し、身体障がい者・知的障がい者向けで導入済みであっても細かいところで利用者や同伴者の利便性が高くなるよう要望した他、千葉県で精神障がい者割引が導入済みだったのが千葉都市モノレールと銚子電鉄だけだったので、精神障がい者割引が他社にも広がるよう要望しました。

その質疑から約1年後の本年6月より、京成電鉄・新京成電鉄・北総鉄道の3社が精神障がい者割引を導入。この3社以外の導入状況・予定について本年7月3日の同常任委員会で尋ねました。

【県交通計画課】JR東日本、東武、東葉高速、つくばエクスプレス、芝山鉄道、流山鉄道が2025年4月から導入予定。残りの小湊鉄道といすみ鉄道は今後検討していくと聞いている。

【秋葉】非常によかったと思います。

意見書案採決日：7/9	秋葉	自民党	公明党
選択的夫婦別姓導入	○	×	×
路線バス運転手確保	○	×	×